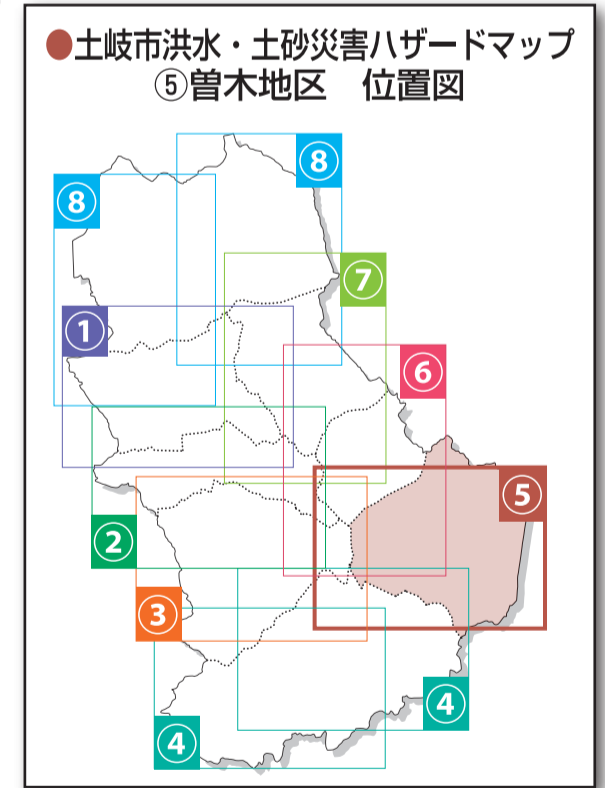
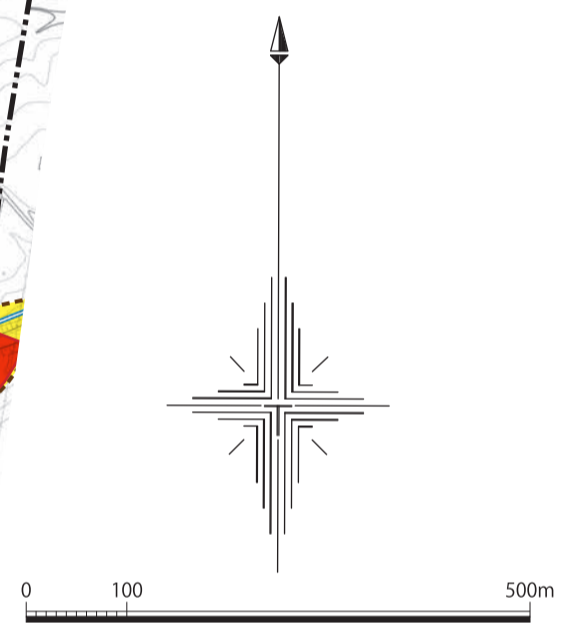
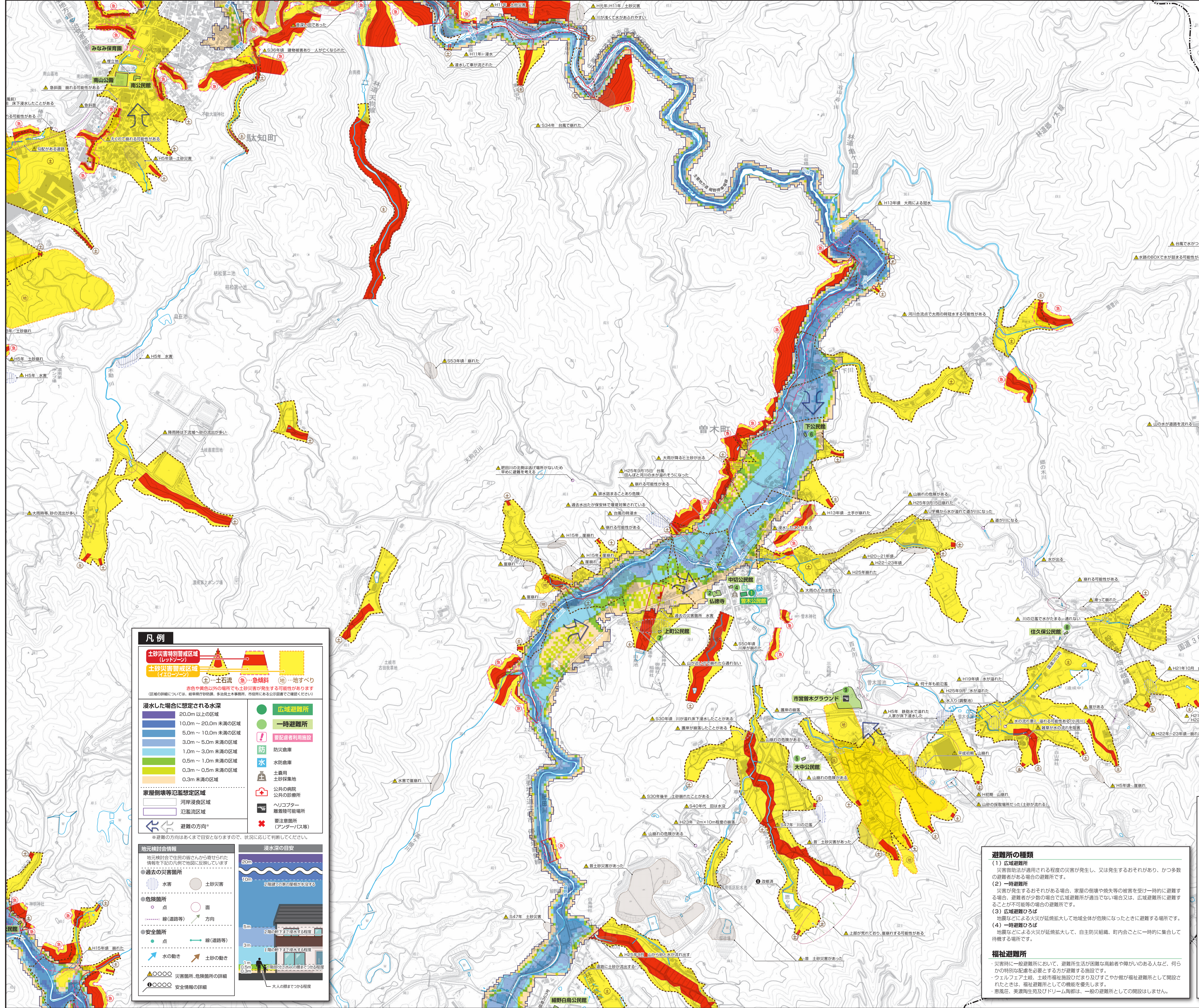


土岐市 洪水・土砂災害ハザードマップ

曾木地区

この地図は、想定し得る最大規模の降雨（1年間に発生する確率が1/1000程度）により想定した場合の浸水が想定される区域と水深を表示しています。また、想定した複数の河川それぞれ最大の浸水区域および浸水深を重ね合わせて表示したものであり、すべての区域が同時に浸水するものではありません。

グリーンヒル環境ソリューション



凡例

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

▲急傾斜 ▲地すべり
 ▲赤色や黄色以外の場所でも土砂災害が発生する可能性があります
 (区域の詳細については、経緯番号参照。多数は土木事務所、市役所にある公開図で確認ください)

浸水した場合に想定される水深

- 20.0m以上の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

避難所

- 広域避難所
- 一時避難所
- 新設仮設利用施設
- 防 防災倉庫
- 水 水防倉庫
- 土 土倉
- 土 土砂採取地
- 公共の病院
- 公共の診療所
- ヘリコプター
- 避難所可能場所
- 避難所 (アンダーパス等)

避難の方向

※避難の方向はあくまで目安となりますので、状況に応じて判断してください。

地元検討会情報

地元検討会で自らの皆さんから寄せられた情報を下の図の様に公開しています。

●過去の災害箇所
 ●水害 ●土砂災害

●危険箇所
 ●点 ●面

●安全箇所
 ●点 ●線(道路等)

●過去の災害箇所
 ●水害 ●土砂災害

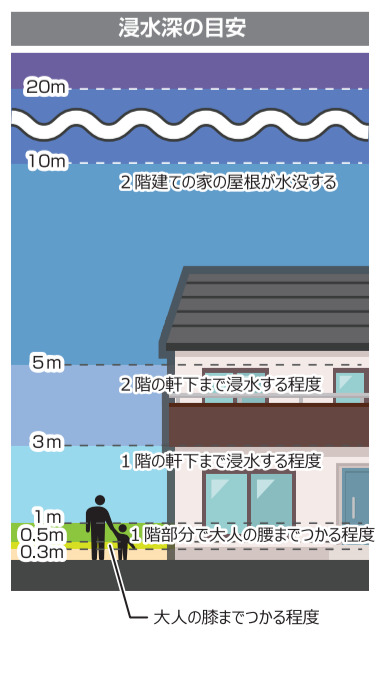
●危険箇所
 ●点 ●面

●安全箇所
 ●点 ●線(道路等)

●過去の災害箇所
 ●水害 ●土砂災害

●危険箇所
 ●点 ●面

●安全箇所
 ●点 ●線(道路等)



避難所の種類

(1) 広域避難所
災害救助法が適用される程度の災害が発生し、又は発生するおそれがあり、かつ多数の避難者がある場合の避難所です。

(2) 一時避難所
災害が発生するおそれがある場合、家屋の倒壊や焼失等の被害を受け一時的に避難する場合、避難者が少数の場合で広域避難所が適当でない場合又は、広域避難所に避難することが不可能等の場合の避難所です。

(3) 広域避難所
地震などによる火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所です。上野公民館、住久公民館、市宮曾木グラウンド(10,388㎡)が該当します。

(4) 一時避難所
地震などによる火災が延焼拡大して、自主防災組織、町内会ごとで一時的に集合して待機する場所です。

福祉避難所

災害時に一般避難所において、避難所生活が困難な高齢者や障がいのある人など、何らかの特別な配慮を必要とする方が避難する施設です。

- 福祉施設(福祉センター、公民館、学校、福祉施設等)を併設している施設
- 福祉施設(福祉センター、公民館、学校、福祉施設等)を併設している施設
- 福祉施設(福祉センター、公民館、学校、福祉施設等)を併設している施設

曾木地区避難所一覧

避難所名	収容能力		施設立地状況	福祉避難所	避難のりば
	屋外	屋内			
1 曾木公民館		170			
2 仏徳寺		140			
3 曾木農業集落研修センター		40	●	▲	
4 中野公民館		25			
5 大中公民館		20	●		
6 下公民館		20	●		
7 上野公民館		20	●		
8 住久公民館		30	●		
9 市宮曾木グラウンド (10,388㎡)	5,184		●	▲	◎

この避難所一覧は令和3年3月現在のものです。最新の避難所については土岐市ホームページ等でご確認ください。

● 施設立地状況【地震】…地震に弱い可能性があり、避難には注意が必要です。
 ● 施設立地状況【洪水】…洪水の被害が予想される場合、避難には注意が必要です。
 ● 施設立地状況【土砂】…土砂災害の被害が予想される場合、避難には注意が必要です。
 ● 赤色は、凡例の「浸水した場合に想定される水深」を示しています。
 ● 黄色は、凡例の「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」を示しています。